

お申込みについて

**1** **パソコン** (各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字)  で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は  
マネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。  
TEL : 03(3434)6271

**2** **スマートフォン  
タブレットから**

参加料 ●お申し込みは、全編、または編単位でも可能です ●1社/2名まで参加可能

食品安全・品質保証 実務者育成コース 参加料金 (消費税込み)

編	料金区分	早割 (2025年3月31日まで)		通常料金 (2025年4月1日以降)	
		法人会員/ JMAの受審企業	会員外	法人会員/ JMAの受審企業	会員外
【全編】(2025年6月~2026年2月)		¥641,300/人	¥712,800/人	¥935,000/人	¥990,000/人
【基礎編】(2025年6月~8月)		¥237,600/人	¥264,000/人	¥385,000/人	¥407,000/人
【テクニカル編】(2025年9月~11月)		¥237,600/人	¥264,000/人	¥385,000/人	¥407,000/人
【マネジメント編】(2025年12月~2026年2月)		¥237,600/人	¥264,000/人	¥385,000/人	¥407,000/人

会場案内 日本能率協会 研修室 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

参加定員 24名 (1社/2名まで参加可能)  
(参加人数が最少催行人数に達しない場合は、  
延期もしくは中止にさせていただきます。)

各種送付物・参加料のお支払について

- 請求書は原則として、「申込責任者」宛に、開催日の約1か月前を目途に送付いたします。事前資料のある場合は、随時お送りいたします。
- 参加料は、請求書記載の支払期限までに指定口座までお振込みください。
- 振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。お支払い方法等につきご希望がございましたら、お問い合わせください。

注意事項

- 教育研修団体、経営コンサルタント、教育インストラクターの方のお申込みは、お断りいたします。
- テキストは原則として会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはお付けいたしません。
- 録音、録画、撮影はご遠慮ください。

参加申込後の取り消し(キャンセル規定)

お申込み後、参加者の都合にてキャンセルされる場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。  
なお、キャンセルのお申し入れは、必ずメール(seminar@jma.or.jp)にてご連絡ください。

各編の開催20日前~15日前(開催日を含まず起算) ..... 参加料の10%  
各編の開催14日前~8日前(開催日を含まず起算) ..... 参加料の30%  
各編の開催7日前~前々日(開催日を含まず起算) ..... 参加料の50%  
各編の開催前日及び当日(開催日を含まず起算) ..... 参加料の全額

お問い合わせ

一般社団法人日本能率協会 ISO研修事業部

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22  
TEL 03(3434)1242(直通) FAX 03(3434)1243 E-mail: isoweb@jma.or.jp  
本教育研修プログラムは、一般社団法人日本能率協会 審査登録センターの第三者審査登録活動とは峻別された独立した活動です。



webからは <https://isoweb.jma.or.jp/inquiry/>



第2期

# 食品安全・品質保証 実務者育成コース

## 今、なぜ「実務者」の育成が必要なのでしょうか？

昨今の食品業界を取り巻く環境は大きく変化しています。HACCPの制度化や消費者の安全・安心志向の更なる高まり、商品仕様の複雑化、アレルギー問題への対応強化などのために、**品質保証部門の役割が一段と高度化**してきています。

一方で、品証品管業務の要となっているベテラン技術者から、次世代の品証品管担当者へ、基本的な知識を含めた**技術伝承が十分に行えていない**という問題認識があることをよく伺います。

**次世代の品証品管担当者の育成**において、このような状況を打開するために、**実務的な品証品管技術の習得と社外ネットワーク作り**をお薦めします。

参加対象

食品関連企業の品質保証・品質管理部門の中核人材として期待される社員

<https://school.jma.or.jp/foodsqm/fsq/>



一般社団法人日本能率協会 ISO研修事業部  
TEL 03(3434)1242(直通) FAX 03(3434)1243 <https://isoweb.jma.or.jp>

本教育研修プログラムは、一般社団法人日本能率協会 審査登録センターの第三者審査登録活動とは峻別された独立した活動です。





本コースの目的

食品製造における「食品安全」「品質保証」の基礎と、実務に活かせる知識を習得し、自社の品質保証部門の中核人材を目指す。  
また、他社の人材との交流を深め、お互いの悩みを共有し、気づきを促すとともに課題解決力の向上を図る。

プログラム

プログラム・開催月は変更する場合があります。



● コースファシリテーター ●

平林 晃一

株式会社 日本能率協会コンサルティング  
生産コンサルティング事業本部  
クオリティ&エンジニアリング革新ユニット  
チーフ・コンサルタント

第1期実績 10社 / 10名(男性7名、女性3名)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 味の素株式会社    | 株式会社川田製麺     |
| 味の素AGF株式会社 | 株式会社コープデリフーズ |
| 江崎グリコ株式会社  | こと京都株式会社     |
| 春日井製菓株式会社  | 三和薬品株式会社     |
| カルビー株式会社   | 株式会社ロビニア     |
- (以上、社名50音順)

基礎編

めざすところ  
品質保証・品質管理  
担当者としての  
視野を広げる

1. 食品安全・品質保証の基本

- 食品安全と品質
- 品質保証と品質管理の違い

2. 食品関連法規制

3. 工程管理および検査(品質保証方法)の設計 ~食品工場事例研究~

- 食品製造現場を観察してあるべき品質保証方法を追求する

開催日程

2025年  
6月20日(金) 1日、通い  
※終了後、懇親会

7月18日(金) 1日、通い

8月22日(金) 1日、通い

受講者のコメント

- 360° 動画による現場監視点では、自分が見落としがちな箇所に気が付くことができ、実際の監査対応において早速活かしていきたいと思いました。
- グループワークのディスカッション時間が長く、各社の実状を伺うことが出来てよかった。
- 自社で"品質価値"についての活動を担当しているので、モノの事にのみフォーカスしがちな"品質"について、改めて定義を学べて良かった。自製品の品質特性について改めて考える事で、自社の設計品質、製造品質について見つめ直す良い機会であった。
- 実際の製造現場を見ながら、品質保証、品質管理体制について学べたことで、第1単位で学んだ事を改めて良く理解できた。この辺りは工場で業務を行うにあたっての必須知識なので復習して自身の血肉としたい。
- コーチングコミュニケーションについては、監査のみならず、人材育成の分野でも非常に重要となる。自社では次世代の品質保証を担う人材の育成についても急務となっているので、そのところにも活かして行きたい。
- QC7つ道具の活用方法の説明を受け、品質安全のみならず生産活動全般にも活用できることもわかり、弊社のこれからの活動に生かして行きたい。
- 現場監査のポイントを知る良い機会となった。コーチングコミュニケーションに関しては、弊社の研修項目に入れていきたいと感じた。

テクニカル編

めざすところ  
品質保証・品質管理  
担当者が使う手法を  
理解し、使いこなせる  
ようになる

4. 品質管理の効果的運用 ~品質管理・食品安全手法~

- 再発防止ツール、QC7つ道具、QC工程表、異物混入防止等の理解と演習

5. 品質事故・回収・苦情対応・事例研究 ~ロット管理とトレーサビリティ~

6. 現場監査の視点、ヒアリング技法

- 現場の点検、監査の視点(安全・品質)
- ヒアリング技法

2025年  
9月19日(金) 1日、通い  
※終了後、懇親会

10月10日(金) 1日、通い

11月14日(金) 1日、通い

マネジメント編

めざすところ  
品質保証・品質管理  
担当者の役割を理解し、  
将来目指す姿を  
設定できるようになる

7. 職場リーダーとしてのマネジメントの基礎

- 課題達成のためのテーマ設定
- コミュニケーション力、コーチング力、等まわりを巻き込み、進める力

8. 未然防止型の品質マネジメントへの転換

- リスク視点の取り組み
- 変化点管理
- 目指すべき組織体制、人材

9. 食品製造における次世代(DX、新事例、等)品質保証と実務者としての目指す姿

- QA業務の効率化
- 各自のKPI(Key Performance Indicator)(重要達成度指標)を描き発表する

2025年  
12月5日(金) 1日、通い  
※終了後、懇親会

2026年  
1月16日(金) 1日、通い

2月13日(金) 1日、通い  
※終了後、  
コース修了会



基礎編・テクニカル編・マネジメント編の3編は選択受講も可能ですが、社外ネットワーク作りのために全編通しての受講をおすすめいたします。

修了証を発行します。